

岩手県 軽米町議会
議会だより

かるまい

No. 225

令和3年4月28日発行



新たな歴史の幕開け



主な内容

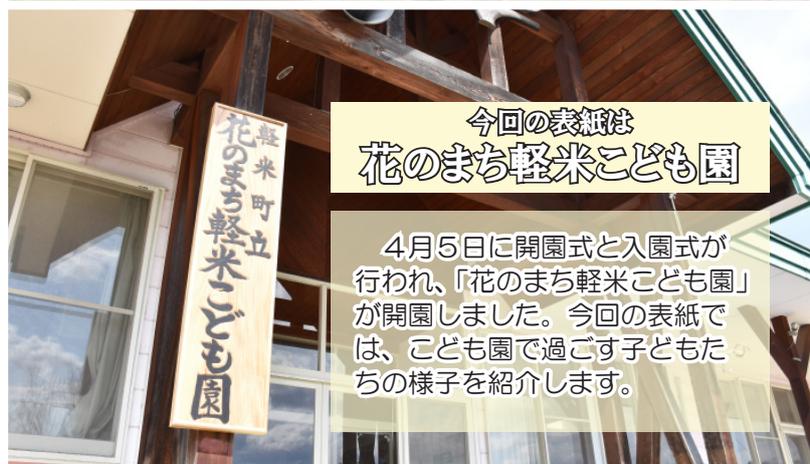
📁 特集 (祝い金制度)

人生の節目に「おめでとう」を込めて 2

📁 3月定例会 令和3年度の予算を可決 4

📁 3月定例会 一般質問に7人登壇 14

📁 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 23



今回の表紙は
花のまち軽米こども園

4月5日に開園式と入園式が行われ、「花のまち軽米こども園」が開園しました。今回の表紙では、こども園で過ごす子どもたちの様子をご紹介します。

特集 祝い金制度

3月定例会（第16回定例会）は、3月2日から16日までの15日間の会期で開かれ、祝い金制度の改正3件や令和3年度一般会計と特別会計、水道事業会計予算など、提案された議案15件すべてを可決しました。

「さわやかカップル祝い金」の改正案は、当初の予定では年齢制限を設けた提案でしたが、議員の意見をもとに会期中に再考。年齢制限を設けない祝い金

制度となりました。今回の改正で町の祝い金制度はどう変わったのか。他市町村の祝い金制度と比較しながら、皆さんも見えていきましよう。

議会決議4項目のうち 1項目が反映されたね



- 1、子どもが安心・安全で、ママ友交流ができる公園整備
- 2、子育て支援日本一にふさわしい祝い金制度の見直し
- 3、出会いのサポートセンター的な場の常設
- 4、移住定住対策一つとして役場職員採用の緩和

さわやかカップル祝い金

1組 10万円
5万円

他市町村と比較	
八幡平市	50万円
軽米町 岩泉町 一関市	10万円
九戸村 岩手町	5万円
二戸市 二戸町	見当たらず

八幡平市50万円は、婚姻時20万円、1年住み続けて30万円

最初は45歳という年齢制限があったけど、再考してもらったんだよね



- 年齢制限を設けたのはなぜ？**
- A** 若者世代がカップルとなり結婚に対するお祝い、そしてできれば子どもを授かっていただきたいという、「すこやかベビー祝い金」と関連性のある条例のため、年齢制限を設ける検討を行った。
- ジェンダー平等に反するのでは。女性も納得できる提案にならないか。**
- A** ジェンダー平等とはすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態差別を撤廃するのが目的。担当課としても差別につながらないように十分配慮して進めたい。

~~婚姻届を提出した時点で、夫婦いずれも満45歳以下である~~

会期中に議案を訂正し、年齢制限は設けないこととなりました

人生の節目に

「おめでとう」

を込めて

賛成



その時代の背景にあった見直しが必要である

上山 誠 議員

長寿祝い金

90歳 5万円
3万円

100歳 30万円
20万円

すこやかベビー祝い金

1子 3万円
0円

2子 5万円
3万円

3子 10万円
5万円

4子 20万円
10万円

他市町村はどれくらい支給しているのか見てみよう。他市町村と比べて軽米はどうか

	第1子	第2子	第3子	第4子
軽米町	3万円	5万円	10万円	20万円
洋野町	3万円	5万円	30万円	
普代村	15万円	20万円	30万円	
野田村	1万円	2万円	8万円	12万円
久慈市	1万円	1万円	1万円	
岩手町	5万円	5万円	5万円	
九戸村		第3子以降に5万円		
八幡平市		第3子以降に5万円		
二戸市 二戸町				見当たらず

他市町村と比較

今ある社会は高齢者のおかげです。減額しても長寿を祝う気持ちは変わりません。

反対



お年寄りを大事にする町として減額すべきではない

山本 幸男 議員

ぎかいの視点

課題解決への第一歩

結婚や出産、子育てに対する若者世代の不安を取り除くことは、人口減少・少子化に歯止めをかけるための急務と考えられ、祝い金の増額は課題解決に向けて一歩前進したと言えます。

- 夫婦にとって第1子の費用負担が非常に大きい。子育て支援日本一を目指すのであれば、どこにも負けない制度をつくるべきでは。**
- A** 県内でも支給額が高い普代村や県外の支給額が高い町村などで、出生率の向上に祝い金の額が関連しているかなどを調査し、今回の改正案としている。

一般会計当初予算 **72億6600万円** を可決

前年度比
7.9%増

徹底議論

特別・水道事業会計も可決されました

国民健康保険 特別会計

11億1400万円

前年度比 4.3% 減

下水道事業 特別会計

1億1722万円

前年度比 27.2% 減

介護保険 特別会計

2700万円

前年度比 18.2% 減

後期高齢者医療 特別会計

1億150万円

前年度比 3.9% 増

水道事業会計

収益的収入 **3億4832万円**

同支出 **3億4618万円**

資本的収入 **1億23万円**

同支出 **3億1088万円**

子育て・教育

p5^

子育て支援の拡充と教育に力を入れることは、出生数の減少や少子化に歯止めをかけるために必要不可欠だと考えられます。町では今年度から、児童・生徒の給食費と園児の副食費を無償化し、子育て世代を応援します。

暮らしと活性化

p6,7^

町民の暮らしと町の活性化は、行政の大きな役割であり、町の将来のためにも必要です。水道事業の給水区域以外への助成制度や電気自動車の購入・太陽光パネルの設置への助成など、新規の助成制度が創設されました。

まとめ

p10,11^

提案された議案 15 件のうち 11 件は全員賛成で可決。反対があった 4 件の議案に対する議論が行われました。(議案 4 号の議論は p 3 に掲載) 討論後に採決が行われ、賛成多数で可決となりました。

施設整備と安全・防災

p8,9^

交流駅の整備事業は、医療廃棄物の出土により予定よりも遅延していますが、今年度から本体工事に着手。また、議会で何度も話題になっている、通学路の拡幅についても質疑が行われました。

子どもは町の宝。子育て世代の方々が、経済的にも精神的にも安心して子育てができる環境を調えることで子育て環境日本一の実現が見えてきます。

新規事業

児童・生徒の給食費と園児の副食費を無償化に



写真は、8月12日に開催された東京2020オリンピック聖火展示イベントの様子

解説

子育て支援日本一のまちは、軽米町が目指す姿。その大きな一歩として、児童・生徒の給食費を無償化し、子育て世代が安心して子育てができる環境を整備します。

新年度予算に

児童生徒給食費無償化事業

3738万円

子育て・教育

旧軽米幼稚園のあけび

問 旧軽米幼稚園のあけびは移植せず、幼稚園があったという意味でもそのままにしては。

答 旧軽米幼稚園の園歌を認定こども園の園歌として使用することとなり、歌詞の「あけびがからむ」のイメージを設けるために、旧軽米幼稚園にも残しつつ認定こども園に移植したい。

町内の小学校

問 軽米小学校に入学する 27 名は 1 学級になるのか。

答 国・県の制度では 35 名以上が 1 学級の定員のため、入学する 27 名は 1 学級となるが、免許を持った学力向上支援員や特別支援員の配置など、学力向上と学校の実情に応じて臨機応変に、弾力性を持った運用をしたい。



軽米小学校では4月8日に入学式が行われ、27名の児童が入学しました

暮らしと活性化

水道事業の給水区域以外への助成制度を新たに創設。また、脱炭素社会の実現に向け、電気自動車の購入と太陽光パネルの設置への助成制度も創設されました。

粗大ごみ

問 二戸のクリーンセンターの修繕が終了すれば、布団等の粗大ごみは出してもよくなるのか。

答 焼却炉の改修のため受け入れをしていなかったが、修繕工事が終了し、二戸広域から受け入れ可能との通知が来れば、再開する予定。

問 修繕工事の終了予定はいつ頃か。

答 工事の予定が5月から11月となっているので、再開は11月以降と考えている。

山車団への支援

問 山車団への交付金は、今後も継続するのか。

答 毎年継続したいと考えている。

自動車免許の返納

問 免許を返納した際、町独自の支援はあるか。

答 75歳以上を対象に、1件あたり2万円分の商品券を支給している。令和2年度は15人。令和元年度は30人の実績。

不法投棄



町のいたるところに不法投棄が跡を絶ちません

問 不法投棄の看板を撤去するようだが、不法投棄が多いことから、少額の看板でも設置するべきでは。

答 不法投棄が多い場所に注意喚起をするため看板を購入している。小さな看板の数を増やして啓発をしたい。

新規事業

未給水区域に対し
飲用水確保の費用を補助

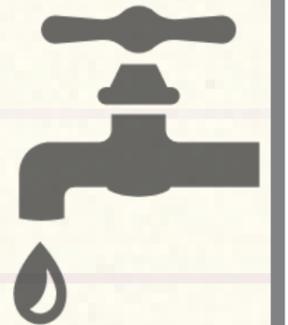
新年度予算に
飲用水確保対策事業
補助金 **200万円**

問 既に整備されている水道や井戸水ではなく、新たに整備するための補助か。

答 水道事業の給水区域以外では飲用水を各自整備しており、井戸の湯水や水が不足する場合がある。ボーリング工事等、住宅の飲用水確保のための補助を考えている。

解説

水道事業の給水区域以外の地域を対象に、40万円を上限として整備費用のうち補助対象費用の半額を補助します。



新規事業

電気自動車の購入と
太陽光パネル設置に助成

新年度予算に

ゼロカーボン推進事業費
補助金 **228万円**

ゼロカーボンとは・・・
二酸化炭素の排出量全体から、森林等の吸収量を差し引いてゼロにすること。

解説

地球温暖化は世界規模の大きな問題です。国では、2050年までに脱炭素社会を実現するとしています。町は脱炭素社会の実現に向け、電気自動車の購入や太陽光パネルの設置費用の助成のほか、ごみの減量化と資源化を推進します。

問 電気自動車の値段はどれくらいか。

答 350万円から400万円になるが、電気自動車の購入には町の事業で10万円、国から80万円の補助がある。

問 町内の販売店では電気自動車を取り扱っているのか。

答 電気自動車は町内の販売店でも取り扱える車種がそろっており、町内の販売店からも購入できる。



地域おこし協力隊の活動

問 昨年度の活動内容とその成果は。

答 隊員の経験をもとに、ミル・みるハウスのレストランメニュー等の開発、接客や指導に努めていただいている。成果が目に見えていないのが実情だが、ミル・みるハウス等を中心に様々な活動を実施している。3年度に招致する隊員についても、町民に直接見える成果を上げることが踏まえ進めていきたい。

今年度も1人の地域おこし協力隊を招致し2人体制で活動します



※ ビブスとは・・・主にスポーツの練習時の組み分けや、選手に番号を割り振るために着用するベスト状の衣服。災害・防犯・イベントなど、役割等を明らかにするため広く使用されています。

どっちが優先？

問 いちい荘方面から下る道路とそこにぶつかる道路、どちらが優先か。また、一時停止の標識等を設置するべきでは。

答 いちい荘方面から下る道路が優先。一時停止の標識は公安委員会で設置するものであり、町で設置することはできない。注意喚起を促す看板の設置など、現地を確認して町でできる対策を検討したい。



交通事故が起きる前に対策が必要です

災害時の保存食

問 アレルギー対応の保存食を備えている市町村が3割に満たないことが新聞に掲載されていた。軽米町の対応状況は。

答 どんなアレルギーがあるかすぐ分かるように※ビブスを数十枚購入して備蓄しているが、保存食は今後の対応になる。

小学校への通学路



歩行者と車がすれ違うには狭い道路となっています

問 B & G プール前の軽米小学校への通学路の拡幅を何度か要望しているが、なかなか整備されない。整備されない理由は。

答 3mから4m程度の用地を買収する必要があるため、過去に地権者の方に説明に伺ったことがある。地権者の方の要望もあり、整備の計画や歩道を設けるには至っていない。

町営住宅の整備



残りの入居者の移転に向け、工事が進められています

新年度予算に

萩田2号団地町営住宅
建築工事 **1億6866万円**

問 古い住宅からの移転が優先ということだが、新規入居者も何戸あるか。

答 この事業は町営住宅の建て替え事業であるため、まだ新規入居者は入居していないが、移転完了後には新規入居者について検討する。

施設整備と 安全・防災

交流駅の建設は今年度も継続

新年度予算に

かるまい交流駅（仮称）
整備事業 **10億3886万円**

解説

かるまい交流駅（仮称）建設予定地から医療廃棄物が出土。処理のため、工期は5ヶ月の遅延となりましたが、今年度から建物の本体工事に着工します。

新規事業

新岩手農業協同組合の
ライスセンター整備に補助

新年度予算に

強い農業・担い手づくり
総合支援交付金 **2億8921万円**
〔うち2億4753万円は県支出金〕

問 整備計画は何年か。

答 令和3年度の1年間で終了する予定。

問 既存のライスセンターのその後は。

答 機械は廃棄。建屋は残して倉庫として使いたいと聞いている。

かるまい交流駅（仮称）整備事業のほか、JAが主体の事業であるライスセンター整備へ県支出金を活用して助成や、今年度の建設で最後となる新萩田2号団地の建設を行います。

議会では3月11日、医療廃棄物が出土した現場の現地視察を行いました



まとめ

討論 令和3年度 介護保険特別会計予算

賛成 利用者にも必要な予算

 田村せつ議員
令和2年度に引き続き令和3年度も他事業所との協議が整うまで、責任を持って健康ふれあいセンターで行うための予算であり、現在サービスを利用している方々にとっても必要な予算である。

反対 訪問介護サービス継続を

 江刺家静子議員
このコロナ禍で、自宅にいてデイサービスを控えている方々にとって訪問サービスは必要。町の訪問サービスを利用したい方々の希望を受け、健康ふれあいセンターの訪問介護事業を継続してほしい。

討論 長寿祝い金条例の改正

賛成 時代の背景に合わせた改正

 上山誠議員
少子高齢化の進展や社会情勢の変化、県内トップの支給額であることから減額するもの。今後も継続して長寿のお祝いをしていくためには、その時々時代の背景に合わせた見直しも必要である。

反対 喜びが小さくなる改正案

 山本幸男議員
人生100歳は一つの到達点であり、敬老の皆さんの目標でもあるが、喜びが小さくなる案。他市町村と比較して額は上位ではあるが、お年寄りを大事にする町として減額すべきではない。

討論 令和3年度 一般会計予算

賛成 住民福祉向上と活性化へ

 細谷地多門議員
JA新しいわてが進めるライスセンター建設事業への補助や新型コロナウイルス感染症対策事業の継続をはじめ脱炭素社会への取り組みであるゼロカーボン推進事業など、ハード・ソフトの各種施策が盛り込まれている。町の現状や社会の動向を踏まえ、住民福祉の向上や活性化のため、創意工夫された予算と評価する。

反対 撤去費用と財源はどうなる

 江刺家静子議員
令和3年度の大きな事業はかるまい交流駅（仮称）整備事業だが、建築工事着工に至っていない。その撤去費用と財源はどうなるのかという課題がある。また、生ごみ処理は、アースラブ菌処理を終了し、新たに廃棄物還元炭化方式に取り組もうとしている。この方式は軽米町に合っているのか、職員や町民の意見を聞いてほしい。

賛否が分かれた議案等の 表決一覧 (賛成：○、反対：×、欠席：欠)



議案名	議員名											賛成	反対	結果
	上山誠	西館徳松	江刺家静子	中村正志	田村せつ	館坂久人	大村税	本田秀一	細谷地多門	山本幸男	茶屋隆			
議案④ 長寿祝い金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	10	1	可決
議案⑩ 3年度一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	9	2	可決
議案⑪ 3年度国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	9	2	可決
議案⑬ 3年度介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決

(※) 議長は通常、採決には加わらない

討論 令和3年度 国民健康保険特別会計予算

賛成 低所得軽減・滞納整理効果

 田村せつ議員
子どもの均等割保険料の軽減は国でも検討されており、現在は所得に応じた軽減がされている。短期保険証は、安易に滞納整理による滞納解消をすることなく、滞納者との対話による納税に努めているもの。平成27年度と比較すると一定の効果が表れている。

反対 均等割免除と短期保険証廃止

 江刺家静子議員
宮古市では、ふるさと納税の財源を活用した子どもの均等割免除を実施している。また、盛岡市では4月に滞納者を呼び納税相談をし、短期ではない保険証を発行している。軽米町でも子どもの均等割免除の実施と、短期保険証の廃止を要望する。

臨時
第15回
議会

交流駅医療廃棄物の撤去処分に1億2407万円

かるまい交流駅（仮称）建設予定地
医療廃棄物撤去処分等の経費の内訳

廃棄物試掘調査	361万円
土壌分析業務	99万円
医療廃棄物撤去処分業務	7420万円
撤去処分等により 工期が5か月延長となる増額経費	2771万円
撤去処分等により 工事着手が遅れることで生ずる補償金	1756万円
総額	1億2407万円

令和2年度一般会計補正予算（第8号）は、町を被告とする裁判の弁護士費用に19万8千円、新型コロナウイルス撤去処分等により、交流駅建設予定地医療廃棄物撤去処分に1億1947万円、

コロナ予算は全額国費

第15回町議会臨時会は、1月26日に開会され、かるまい交流駅（仮称）建設予定地の医療廃棄物撤去処分費を含む1億2641万円を追加し、予算総額8億349万円となる令和2年度一般会計補正予算（第8号）を賛成多数で可決しました。

議案第1号一般会計補正予算（第8号）は、賛成多数で可決。討論には4人が登壇し、町民が納得できるように説明責任を十分に果たすべき。また何か危惧することが出ないかと町民の不安が募る。昨年から町長個人の問題と一連のものではないか。土地売買の信頼関係で想定できなかったと理解し、県への費用負担協議を強力に押し進めることに期待。など、賛否両論の意見が出され、白熱した討論が行われました。

賛否両論の声

二戸広域への負担金324万8千円を補正するものです。歳入は、コロナ関連予算は全額が国庫補助金、残りは財政調整基金の繰入金です。

表決一覧（賛成：○、反対：×、欠席：欠）

議員名	議員名													賛成	反対	結果
	上山 誠	西館 徳松	江刺家 静子	中村 正志	田村 せつ	館坂 久人	大村 税	本田 秀一	細谷地 多門	山本 幸男	茶屋 隆	（※）松浦 満雄				
議案① 一般会計補正予算（第8号）	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	○	（※）	7	4	可決	

（※）議長は通常、採決には加わらない

賛成（7人）多数で一般会計補正予算（第8号）を可決

《3月定例会》

採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
議案①	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 〔新型コロナウイルス感染症に対処した職員に、防疫作業手当を支給するもの〕	可決 （全員賛成）
議案②	すこやかベビー祝金条例の一部改正 〔支給額を第1子へ3万円、第2子へ5万円、第3子へ10万円、第4子以上へ20万円に増額改正〕 関連p3	
議案③	さわやかカップル祝金条例の一部改正 〔支給額を10万円に増額改正〕 関連p2	
議案④	長寿祝金条例の一部改正 〔支給額を90歳に3万円、100歳に20万円に減額改正〕 関連p3	可決 （賛成多数）
議案⑤	道路占用料徴収条例の一部改正 〔町道等の敷地内に電柱等を建てた際の使用料について見直す内容〕	可決 （全員賛成）
議案⑥	令和2年度一般会計補正予算（第9号） 〔1億1522万8千円を減額し、総額86億8826万5千円に〕	
議案⑦	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 〔255万7千円を減額し、総額11億8966万9千円に〕	
議案⑧	令和2年度下水道事業特別会計補正予算（第1号） 〔1082万2千円を減額し、総額1億5017万8千円に〕	可決 （賛成多数）
議案⑨	令和2年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 〔568万8千円を減額し、総額2745万6千円に〕	
議案⑩	令和3年度一般会計予算〔歳入歳出総額72億6600万円〕	
議案⑪	令和3年度国民健康保険特別会計予算〔歳入歳出総額11億1400万円〕	可決 （賛成多数）
議案⑫	令和3年度下水道事業特別会計予算〔歳入歳出総額1億1722万5千円〕	可決 （全員賛成）
議案⑬	令和3年度介護保険特別会計予算〔歳入歳出総額2700万7千円〕	可決 （賛成多数）
議案⑭	令和3年度後期高齢者医療特別会計予算〔歳入歳出総額1億150万円〕	可決 （全員賛成）
議案⑮	令和3年度水道事業特別会計予算 〔収益的収入3億4832万円、同支出3億4618万8千円 資本的収入1億23万1千円、同支出3億1088万9千円〕	可決 （全員賛成）
発議案①	軽米町議会会議規則の一部を改正する規則	
	総務教育民生常任委員会の閉会中の継続審査〔請願陳情⑦の継続審査〕	
	人口減少・少子化対策調査特別委員会の閉会中の継続調査 〔次の定例会までの間、特別委員会の調査活動を認めるもの〕	
	令和3年度の議員派遣〔3年度の議員研修等の予定を定めるもの〕	
	委員会の閉会中の所管事務調査 〔次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの〕	



高齢者世帯への買い物支援

問 (株)産業開発を利用しては

町長 調査の結果を踏まえ支援充実に努める

問 高齢者等の交通弱者が、食材等の生活必需品の買い物を、町はどう捉えているか。



高齢化社会の進行に対し、町中心部から離れていても高齢者が不便なく過ごせる生活支援が必要となります

町長 地域内での支え合いの環境づくりを進める結つこの会による地域交流会等で地域課題としてあげられており、買い物支援の必要性について町も課題として捉えている。



(株)軽米町産業開発は買い物支援として、「ミルの助」を対象者に配布し買い物支援を実施しています



町の農業の現状と課題

問 農家減少に対する町の考えは

町長 日本全体の共通の課題と認識している



町の基幹産業でもある農業の担い手不足は深刻な問題となっています

問 町の農業経営の現状は。

町長 農業は町の基幹産業だが、農家戸数は年々減少し、農業従事者の減少と高齢化による担い手不足が深刻な問題となっている。

問 農家の人手不足に対する町の考え方と対策について

町長 国庫補助事業である農業次世代人材投資事業や、町の単独事業の軽米町親元就業給付金事業により新規就農者の就業直後の経営確立の支援を積極的に行うとともに、就農相談会を開催するなど新規就農者の掘り起しに取り組んでいる。



スマート農業は農作業の省力化と効率化につながり、新規就農者の確保が期待されます



たむら せつ
田村 せつ

子育て支援環境

問 ベビーベッドの整備を

町長 改修計画の中で検討したい

【問】町の公衆トイレで乳幼児用の設備が整っているのは、防災センターの公衆トイレのみ。役場庁舎内のトイレ改修が予定されているが、その際、本庁1階トイレと農村環境改善センター1階のトイレに乳児連れのベッドを整備してはどうか。

【町長】ベビーベッドの設置はスペース的な制約があるが、改修計画の中で検討したい。

【問】スクールバスで登下校している生徒は、冬はB&Gで降りて中学校まで歩いて行く。町民体育館の坂道を登っていくが、道幅が狭く、路面凍結により歩くのも大変。車がすれ違うのに恐怖を感じると聞く。雪が降ったときや路面

凍結している際の対応はどうなっているか。

【町長】軽米中学校付近は通学路であることから、優先的に除雪を実施している。除雪により道幅が狭くなった場合には、ロータリー除雪機による拡幅作業を実施している。町民体育館下の坂道には砂

箱を設置しているほか、路面の凍結状況によつては凍結防止剤や焼き砂を追加散布するなどの対策を講じている。今後はさらに町民

体育館の職員による道路状況の確認や凍結防止剤の散布を実施するなど、引き続き安全対策に努めたい。



現代は高齢者や車椅子、乳幼児連れの方々に配慮した、多機能のトイレ整備が求められています



【問】子育て世代の親は、子育てしやすい環境として外で元気に遊ばせることのできる公園の整備を要望している。また、軽

米町総合発展計画(素案)の中では子どもの公園の必要性を掲げている。一日でも早い公園整備に向けての取り組みを期待しているが、今後どのような取り組みをするのか。

【町長】既存施設の活用も含め、設置場所や財源等もしっかり確保し、怪我等がないように安全管理も検討しながら早期実現に向けて取り組みたい。

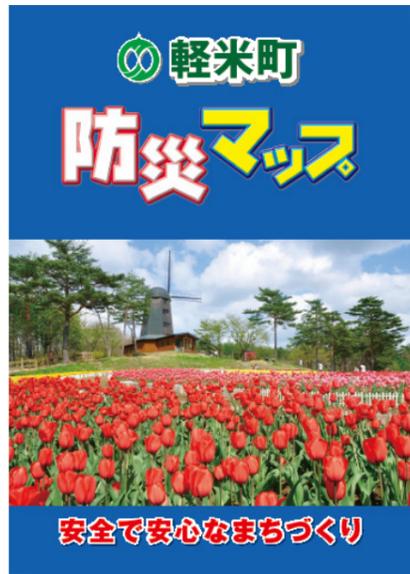


ちや たかし
茶屋 隆

自然災害の防災

問 大きな災害への町の対応は

町長 施設や個人住宅の耐震化の支援を用意



今後の大きな災害に備え、自主防災組織の取り組みと町の対策が求められます

【問】自主防災組織は町内に何組織あるか。また、今後どのように組織率の向上を図るか。

【町長】住民組織による自主防災組織の結成数は11組織にとどまっております。町としては町内全域での組織結成を目指し、研修会の開催等、取り組みの充実強化を図りたい。

【問】今後大きな地震が心配されるが、町はどのような対策を考えているか。

【町長】町民体育館や学校施設等の耐震化を図るとともに、現行の耐震基準制定前の木造住宅を対象とした耐震診断支援事業や木造住宅耐震改修工事助成事業による、個人の住宅

の耐震化を進める支援を用意している。また、防災マップ内に災害発生時の対応や家財の転倒防止対策を掲載。アラートによる緊急地震速報訓練の際には、

シエイクアウト訓練を呼び掛けている。

2050年までの脱炭素社会の実現

問 会議の具体的内容は

町長 町の取り組みと方針を述べた

【問】昨年12月25日、国・地方脱炭素実現会議が総理官邸で開催。山本町長も同席し、町の再生可能エネルギー推進事業等を説明し、今後の意見を表明を行ったと広報するまいに掲載されが、具体的内容は。

【町長】「脱炭素社会の構築は国家的課題であるが、地方にしかできないこともある。地方の一つ一つの積み重ね、そして国からの支援が必要であるとしたうえで、北岩手9市町村が横浜市と連結した再生可能エネルギーの連携協定などで地域課題の解決を図っている。また、令和4年度までに鶏糞を活用したバイオマス発電と、メガソーラー事業による町内の一般家庭年間使用電力の約20倍の再生エネルギーの発電を実現したい」と述べた。



本年10月には軽米・尊坊太陽光発電所、令和4年4月には軽米・高家太陽光発電所が売電を開始します



交流駅事業の動き

問 交流駅整備の総事業費は

町長 総事業費は 27 億 4587 万 3 千円となる



「県立軽米病院」という名前入りの医療廃棄物が確認されています

問 医療廃棄物の処分業務委託の入札は行われたか。
【産業振興課総括課長】 2月10日に入札を行い、2月16日付で契約を締結した。
問 契約先と業務の内容は。
【産業振興課総括課長】 契約先は、盛岡市の(株)東北ターボ工業。医療廃棄物が混入した土砂を20リットルの容器に詰め処分場へ運搬し、焼却処分が完了した時点で

業務が完了となる。
問 1月26日に可決された補正予算や医療廃棄物処分等を含めて、総事業費はいくらになるか。
【町長】 令和2年度一般会計予算に計上している6億5659万9千円に、債務負担行為の整備事業の限度額19億6980万5千円を加え、26億2640万4千円を予定。総事業費は27億4587万3千円となっている。

祝い金制度の見直し

問 長寿祝い金条例を減額にした理由は。
【町長】 少子高齢化の進展など、社会情勢の変化を踏まえるとともに、県内市町村の状況も参照し、長寿祝い金は高齢化社会への対応として金額の見直しに至った。

問 減額した理由は

町長 社会情勢の変化を踏まえて



もらって喜ばれる祝い金制度となるよう、今後も見直しが必要となります

問 100歳は年間に何人の実績があるか。
【町長】 平成29年度は2人、平成30年度は1人、令和元年度は4人、令和2年度は3人となっている。令和3年度は9人の予定、令和4年度は6人、令和5年度は10人の予定となっている。



難聴者への補助と健診の導入

問 健診に聴力検査を加えては

町長 国・県の動向を見ながら検討

国民健康保険税

問 均等割の免除や軽減を

町長 国の法案を注視したい

問 子育て支援日帯を対象に、均等割額を軽減する措置が法案として盛り込まれる方針となっており、令和4年度の施行に向けて進められている。
【町長】 次期医療保険制度改革の一環として、未就学児のいる世帯を軽減する措置が法案として盛り込まれる方針となっており、令和4年度の施行に向けて進められている。

問 観音林地区の水道管老朽化対策が急がれるのではなか。
【町長】 漏水が多い山内地区の水道管布設替工事を現在行っており、観音林地区も新年度に工事を行う予定している。

問 加齢性難聴の対策として、補聴器購入への補助制度を創設しては。
【町長】 聴力に障害があり、身体障害者手帳を所持している方には補聴器購入補助を行っている。加齢により難聴が進んでいる方も、医師からの診断内容をもとに障害者手帳を取得することで、購入の補助を受けられる。



難聴は、認知症を発症する危険因子の一つに挙げられています

問 町内に耳鼻科がないため、町民の健診に聴力検査を加えては。
【町長】 国・県の動向を見ながら検討する。

水道事業

問 給水等の今後の計画は

町長 老朽管更新と有収率向上

問 観音林地区の水道管老朽化対策が急がれるのではなか。
【町長】 漏水が多い山内地区の水道管布設替工事を現在行っており、観音林地区も新年度に工事を行う予定している。

ごみ減量化の推進

問 中途解約する理由は

町長 費用対効果が課題と判断

問 生ごみの縮減処理事業は令和2年度末で中途解約し、解約金を支払う。
【町長】 これまでの生ごみの縮減事業は、人による作業が多いことと、可燃処理と等により、可燃処理よりも経費的に割高と指摘されていた。令和3年度も事業の継続を検討したが、費用対効果の面が課題と判断し、3月31日で終了することとした。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ②③

すがわら ゆみ
菅原 祐美 さん

盛岡市出身 30代(車門)
夫・長男・長女・二女・三男・三女の7人家族



募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町にいられた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

「今」をいいものに
今、身の回りで関心があることは何ですか？
5人の子育てをしていて、子どもが小さかった時とは違った面でいろいろ悩んだり、考えたり、逆に喜びや楽しみもあったり…。毎日が新しい発見でいっぱいなので、いかに「今」を

素敵な「地元軽米」に
町づくりへの思いを一言
軽米町の良いところは自然豊かだということだと思います。そんな恵まれた資源をいつまでも残していきたいように、自然を感じることでできる公園や施設が増えていき、息子や娘たちが大人になっても素敵な「地元軽米」であってほしいと思います。

結婚を機に軽米へ
軽米町で暮らすきっかけは？
結婚を機に軽米町に来ました。正直、同じ岩手県に住んでいても、県北の軽米町についてはほとんど知りませんでした。私は山や田んぼに囲まれた自然の中で暮らしたいと思っていたので、緑がたくさんある軽米町はすごくいい所だと思います。

輪が深まる温かい町
他の市町村と比べると？
少子化が進み、幼稚園や保育園、小・中・高と年々生徒数が減ってきているのはすごく寂しいのですが、逆に、先生方と子ども、子ども同士、地域の方々ともたちなどの輪が深まりやすくて、人と人との繋がりのある温かい町だと思います。

いいものにするか、充実した日々にするかを考えて生活しています。

検証

あの「検討します」は… どうなった？ ⑱

追跡

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

【祝い金の見直し】

令和2年3月定例会

一般質問 から
Pick up!

問 「さわやかカップル祝い金」、「すこやかベビー祝い金」
額を大幅に上げ、話題性を作っては

答 次期総合発展計画の策定過程の中で検討したい

その後は… 祝い金の額は増額、第1子出産への祝い金の
支給も決まりました

〔解説〕

議会決議4項目の中の1項目でもある祝い金の見直しは、令和3年3月定例会にて改正され、これまでの支給額から増額となりました。未婚・晩婚化の解消や少子化を克服するには、行政からの支援が必要。軽米町で結婚し、軽米町で子どもを産み、軽米町で子どもを育てたいと思ってもらうためにも町の支援は重要になってきます。議会は今後も、決議の実行とさらなる支援拡充に向け、行政との連携を強め、住み良い町づくりに努めます。



議会のはてな？ しくみを教えて！ ⑲

ぎかいほう 議会報の役割

議会と行政を知る
議会報は、議会の傍聴に来ていなくても議会の内容を知ることができ、町民の代表である議会がどう町づくりに関わっているかを知ることができ、媒体でもあります。議会報を通して議会を知り、町政に興味と関心を持ってもらうことが、議会報の重要な役割です。

議会の過程を伝える
軽米町議会報は、3月・6月・9月・12月の定例会毎に発行しており、予算審議や決算認定をはじめ、条例改正の審議、行政執行の監視、調査と提案など、議会の多様な活動と町の取り組みを幅広く掲載しています。議会が何に注目し、何を協議し、何を議決したのか、その内容と過程を町民に伝えることが議会報の主な目的です。



かるまい
議会だより

発行日 令和3年4月28日発行 (No. 225)
 発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄
 編集 議会報編集常任委員会
 〒 028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
 TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
 URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長	中村 正志
副委員長	江刺家 静子
委員	茶屋 隆
〃	山本 幸男
〃	田村 せつ
〃	上山 誠

軽米町議会だより
はこちらから

